リーフレットダイジェスト版

令和7年度、2025年度、大阪府豊能地区、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町、公立学校教員募集リーフレット

これは大阪府豊能地区公立学校教員の採用選考テストの実施にあたり、受験を希望する人に、参考としていただくために作成したリーフレットを抜粋したものです。

**1、大阪府豊能地区とは**

大阪府の北西に位置する、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の、3市2町を豊能地区と呼んでいます。大阪国際空港やJR新大阪駅に近接する成熟した都市部と、季節ごとにさまざまな表情を見せる魅力的な自然環境をあわせ持った地区です。豊能地区は全国で唯一、市町共同で教員採用選考を実施しており、毎年各地から、ここ豊能地区で先生になることをめざす、多くのかたに志願いただいております。

**2、豊能地区3市2町の特色ある教育**

豊中市

ホームページ、https://www.city.toyonaka.osaka.jp/

学校数、小学校38校、中学校16校、義務教育学校1校

豊かな夢を子どもたちに、ともに描く学びと創造のまち、とよなか、大きな夢をいだいて、ほがらかに生きよう

庄内地域に、豊中市初の義務教育学校が開校

つながるちから、まなぶちから、つくるちからを基本として、やり抜くことで世界にはばたいていく子どもをはぐくみます。令和5年、2023年4月に庄内さくら学園が開校しました。また、令和8年、2026年に仮称、みなみこうが開校予定です。

その1,教職員の働きかた改革を推進

教員業務支援員を市立学校全校に配置、もと校長などで構成される、学校運営支援員による巡回訪問、及び教職員からの相談対応、勤務時間外の留守番電話対応、携帯電話の配備、学校行事の精選、定時退勤びの設定、学校閉庁びの導入などの取り組みを行い、働きやすい職場環境づくりに努めています。

その2,ICTを活用した、子ども主体の学び、の推進

ギガスクール構想を推進するため、児童、生徒用一人一台タブレット端末に加え、教員用タブレット端末の整備を進めるとともに、ICT支援員を配置しています。また、学識経験者を講師とした情報モラル、リテラシー、セキュリティなどの現状の課題に応じた研修や、各種導入ソフトを活用した授業づくり研修などを多数実施しています。

その3,マチカネ先生塾、及び教員サポートシステム

教員をめざす学生には、マチカネ先生塾で、経験の浅い教員には、もと校長などで構成される、経験豊富な学校運営支援員が、授業りょくのサポートをおこなっています。

その4,た文化共生

帰国、とにちや外国にルーツを持つ児童、生徒に対する様々な学習支援や居場所づくりなど、支援施策に取り組むとともに、互いに認め合い、尊重し合い、共に生きるた文化共生の視点での学びを進めています。また、ユネスコスクール参加校などは国内外の学校との協働授業に取り組んでいます。

その5,大学との連携、サウンドスクール事業

大阪音楽大学との連携により、音楽が溢れる学校づくりをすすめ、子どもたちが、生きた本物の音楽にふれる教育を推進しています。

池田市

ホームページ、https://www.city.ikeda.osaka.jp/

学校数、小学校9校、中学校4校、義務教育学校1校

子どもの豊かな育ち、日本一をめざすまち、池田

子どもにとって魅力のある学校園づくり

その1,特色ある研究活動

各学校園の多様な教育課題に対して研究委託を行い、全学校園において子どもの姿から学ぶ実践研究を進めています。子どもの学びの姿を中心に据え、多様性を重視したひとりひとりをいかす教育を進めています。

その2,教育デジタルトランスフォーメーション

全小学校、中学校、義務教育学校の各教室に、電子黒板と一人一台タブレット端末を導入しています。子どもたちの思考の過程で生まれるひらめきを大切にし、瞬時に子どもたちの意見を共有することができるようになりました。教職員の授業や校務での活用方法の研究も日々、行われています。

その3,小中一貫教育の推進

中学校区をまるまる学園と呼称し、幼稚園などの就学前から義務教育9年間を見通した、小中一貫教育を推進しています。校種を越えた、異学年交流も盛んで、児童、生徒はもちろん、校種の違う教員同士もつながることができます。また、施設一体型の義務教育学校、ほそごう学園では、1年生から9年生が学校生活をともにし、一体型ならではの教育を進めています。

その4,教職員が働きやすい環境づくり

時間外勤務を減らすため、定時退勤びや学校閉庁びの設定など、さまざまな取り組みをしています。元気なこころとからだで、子どもと向き合うために、今後も働きかた改革を推進していきます。

学校の枠を越え、地域とつながる

その5,地域社会との連携

学校、家庭、地域が協働し、子どもたちがいきいき活動できる、教育コミュニティづくりを推進しています。また、公設民営の塾、ふくまるはばたき塾では、子どもたちの家庭学習や自習のサポートをおこなっています。

その6,ふくまるきょうし塾で人材の育成

池田の教員をめざすかたに向けて、ふくまるきょうし塾をかいじゅくし、学校現場で子どもたちと学ぶ現場実習と、学識経験者や現役の教員から教育の今を学ぶ、ふくまる夢たまごセミナーの二本ばしらで、教員としての資質、能力を育成しています。

箕面市

ホームページ、https://www.city.minoh.lg.jp/index.html

学校数、小学校12校、中学校6校、小中一貫校2校

子どもたちの豊かな学力をはぐくむ、最新の教育環境

その1,情報教育の推進

ICTを活用した授業、保護者との連絡

箕面市では、全児童、生徒に配備された一人一台のタブレット端末をつかい、ひとりひとりの課題に応じたドリルに取り組むなどして、個別最適化された学習を進めています。また、学習支援ソフト、トモリンクスを活用し、オンライン上でのプリント配布や回収を行うことが可能です。デジタル連絡帳を活用することで、児童生徒端末のみならず、保護者のスマートフォンにも反映され、正確かつ迅速に連絡事項を伝えることができ、教員と保護者の負担を軽減しています。

その2,すべての小中学校で、9年間一貫した教育を実施

箕面市では市内の全小学校、中学校で、小中一貫したカリキュラムが組まれており、子どもたちはのびのびと成長できます。中でも、とどろみの森学園と、さいとの丘学園は、9年間同じ敷地で学べる施設一体型の小中一貫校で、市内の小中一貫教育をリードしています。

その3,箕面の授業の基本で、指導のスタイルを確立

箕面版、授業の手引きを活用することで、すべての先生が子ども主体の課題解決型授業を展開しています。

その4,英語教育の推進

箕面市では、市内の全小学校、中学校の全学年で、英語の学習を毎日実施しています。さらに、各校でネイティブ、英語指導助手とのティームティーチングを実施し、学校の授業だけで、高い英語りょくを身につけることができます。箕面から世界へ活躍できる、子どもたちを育てています。

その5,ぴあカレッジで教員養成

箕面市の教員をこころざす学生、および講師のかたを対象に、教員養成セミナーを実施しています。ICT教育、授業づくり、生徒指導、支援教育、人権教育など、様々な教育内容について学び、子どもたちの豊かな人生を切り拓くために必要な、教員としての資質、能力をはぐくんでいます。

豊能町

ホームページ、https://www.town.toyono.osaka.jp/

学校数、小学校4校、中学校2校、うち小中一貫教育校1校

豊かな自然と豊かな人材をいかし、豊かな子どもを育てる

めざす子ども像、豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども

その1,地域とともにある義務教育学校の設立

令和8年4月、東西それぞれに義務教育学校、2校を設立し、新しい学びの段階、4，3，2制を導入していきます。先行して、令和4年4月、東地区に施設分離型の小中一貫教育校、ひがしのせ小中学校を開校し、前期学部、1年生から4年生が小学校校舎で、そして中期、後期学部、5年生から9年生が中学校校舎で学校生活を送っています。

その2,ほよう小中一貫教育の推進

0さいから15さいまでの15年間の、学びと育ちをつなぐ一貫した教育を推進し、確かな学びと豊かな心の育成、グローカル人材の育成をめざします。ちなみに、グローカル人材とはグローバル、世界と、ローカル、地域、を合わせた言葉で、どちらの視点も持てる豊かな人材のことを意味します。

その3,とよの未来科の実施

地域資源を最大限活用した、豊能町だからこそ学べる、体験的、探究的な学習を就学前から行います。とよのの宝物について学び、グローバルな視点で豊能町の未来のために、自分たちでできることを考える学習をおこなっています。

その4,使える英語の充実

就学前から、段階的に英語に慣れ親しませる体験的な活動を充実させ、使える英語をめざします。

能勢町

ホームページ、https://www.town.nose.osaka.jp/

学校数、義務教育学校1校

自分がすき、能勢がすき、仲間とともに、夢がいっぱい

その1,義務教育学校、発達段階に応じた柔軟な指導、支援

もっと地域とともに、もっとあたらしい学びへ、もっとチームに、をスローガンに令和4年4月、義務教育学校へ移行し、9年間の学び、生活を効果的につないでいます。

その2,学力向上サポート

ICTの活用推進、英語教育の充実、5年生から9年生が対象となる英語4技能テストなど、また能勢町学力テスト、能勢分校との連携など、様々な機会を設け、確かな学力の定着をめざしています。

その3,子どもの安心サポート

福祉との連携、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどのた職種で構成するチーム学校、コミュニティスクールの取り組み、支援教育の充実、つうきゅう指導教室の開設など、学校、地域、行政でひとりひとりの子どもを大切にする教育を進めています。

その4,働きやすい環境

豊かな自然に囲まれ、素直で元気な子どもたち、学校と協働する地域、保護者、あたたかい教職員集団、広々として充実した学校施設。小さなまちならではの充実した教育環境のもと、熱い夢を持つ子どもたちを育成しています。

その5,体力向上サポート

大学と連携し、授業支援、体力向上プログラムやイベントを実施し、元気でたくましい子どもの育成に努めています。

**3、豊能地区3市2町の紹介**

豊中市

高校スポーツ発祥の地、とよなか

野球、アメリカンフットボール、ラグビー、サッカーなど、全国の高校生大会が開催された、豊中グラウンドのあったまちです。

その1,平成24年から、中核市

大阪市に近い地の利と、起伏に富んだ丘陵地帯は、早くから絶好の住宅地として選ばれ、文教都市の名声が高まるにつれ、人口が急激に増え、市街地も大きく広がりました。

その2,抜群の交通アクセスを誇るまち

阪急電鉄や大阪モノレール、北大阪急行、阪急バスといった公共交通機関が充実しています。また、阪神高速11号池田線、中国縦貫自動車道、名神高速道路、国道176号線や423号線、しんみどうすじ、などの道路網が市内を縦横に走っています。さらに、大阪国際空港から全国各地へ空路でつながるなど、市内や広域の交通利便性を支えています。

その3,音楽あふれるまち

豊中市内には、日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学など、他の市にはない音楽環境があることから、音楽あふれるまち、とよなか、と銘打ち、子どもたちへのフルオーケストラコンサートや、市内の神社や教会でのアンサンブルコンサートなど、様々な音楽イベントを実施しています。

池田市

人、自然、文化の調和するまち、池田

事始めのまちとして、いにしえの織姫伝説にはじまり、阪急阪神東宝グループの創業者、こばやしいちぞうや、世界初のインスタントラーメンの開発者、あんどうももふく、ゆかりの地である池田市は、北部は緑豊かな植木のまち、中心部は閑静な住宅地、南部は高速道路や空港のある交通の要衝という、様々な顔を持ったまちです。大阪みどりのひゃくせんにも選ばれているさつきやま公園は、春は桜、秋は紅葉の名所で、夜景も素晴らしく、いながわの清流とともに私たちの心をいやします。公園内には、世界一ハートのある動物園、さつきやま動物園があり、ワラビーやアルパカ、そして2022年に世界最高齢としてギネス記録に登録された、ウォンバットのワインなどが飼育されています。また、ウォンバットといけだの魅力をより多くの人に知ってもらうため、ウォン、トゥ、いけだプロジェクトを進め、PR活動をおこなっています。

箕面市

地域の絆で守る、地域の安全

大阪で一番安全なまちをめざし、全ての通学路や公園に防犯カメラを設置。その数は、約2000台。設置前と比べて、子どもへの声かけなど不審しゃ情報やひったくりなどが半減し、効果は抜群。また、防犯カメラ設置費用の補助もしているので、自治会も地域にカメラを設置し、市民協働で防犯りょくを高めています。

豊能町

人とみどりが輝くまち、とよの

大阪府の北部にあり、ほくせつ連山に囲まれた自然豊かなまち、豊能町。棚田が一面に広がり、川のせせらぎ、かぜのおとが聞こえる、いなかの顔と、整備された住宅地が続き、自然と調和した、まちの顔をあわせ持ったまちです。自然や立地に恵まれた環境のほかに、歴史も特徴的。かつてこの地はキリスト教信仰が行われ、キリシタン大名として名高いふくしゃ、たかやまうこんの生誕地です。また、とよのみかげいしがとれる石のまちとして、史跡や石仏、せきとうなどが各地に残されています。

能勢町

人、地域、地球の健康を守り、縁をつなぐ、開かれたまち、能勢

能勢町は、大阪府の北端に位置し、豊かな里山の自然と歴史に恵まれて生命をはぐくみ、独自の文化を持つまちとして発展してきました。里山の自然資源や人間関係などの資源を基軸として、人と人、里山とまちをつなぎ、自立的で魅力あふれるまちづくりをめざしています。とりわけ、エスディージーズの達成に向け、地域資源が循環する里山未来都市の実現をめざし、ゼロカーボンタウンの実現や、里山資源の活用、健康長寿の取り組みなど、持続可能なまちづくりの実現に取り組んでいます。

**4、選考職種**

小学校教諭、中学校教諭、養護教諭

**5、出願期間**

令和6年、2024年4月1日、月曜日、から、4月30日、火曜日、まで

詳しくは令和7年度、2025年度、大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト受験案内をご確認ください。

**6、出願方法**

インターネットによる出願は、協議会ホームページ、https://toyono-jinjikyo.com/、から電子申込システムにアクセスし、該当する選考区分の手続きのページから出願してください。

**7、採用までの日程**

その1,願書の受け付け期間

インターネットによる電子申し込みは令和6年、2024年4月1日、月曜日、午前10時から、4月30日、火曜日、午後5時まで。

電子申請での出願が困難なため、郵送による出願を希望される場合は、事前にお問い合わせください。

その2,第1次選考

ひっとうテストは6月15日、土曜日。

面接テストは6月22日、土曜日、から、6月30日、日曜日、のうち、いずれか1日を指定します。

第1次結果発表は7月23日、火曜日の予定。

その3,第2次選考

ひっとうテストは8月10日、土曜日。

実技テストは8月3日、土曜日、5日、月曜日、10日、土曜日、25日、日曜日。

校種教科により異なります。

面接テストは8月21日、水曜日、から、8月30日、金曜日、のうち、いずれか1日を指定します。

第2次結果発表は9月27日、金曜日の予定。

その4,合格者には、採用前セミナー、健康診断、採用先市町決定通知、オリエンテーションを12月下旬から2月下旬にかけて実施予定。

令和7年、2025年4月採用、辞令交付式。

**8、問い合わせ先**

大阪府豊能地区教職員人事協議会

〒561-8501

豊中市、なかさくらづか、3丁目1番1号、豊中市役所内

電話番号、06-6858-3341

ホームページ、<https://toyono-jinjikyo.com/>